



児童数		2月28日現在		321名	
1年	52名	2年	50名	3年	52名
4年	54名	5年	57名	6年	56名



彦郷小学校 3月学校だより

決して一人ではない！ 応援してくれる人がたくさんいる！

校長 川島 明

まだまだ体に当たる北風は凍りつきそうですが、日が射す日中は、温かく感じられる日も多くなりました。桜のつぼみも少しずつ膨らんでいます。弥生三月。確実に春の訪れを感じます。

令和6年度も残すところ、1か月となりました。いよいよ最後の月となり、卒業式の練習が始まります。2月中旬に6年生と校長室で給食の会食を行いました。一人一人が「追いつきたい鬼」「ここだけの秘密」「担任の先生の良いところ」について語ってくれました。最後に、私からお願いをしました。子供たちと担任との関係がとても良いことを実感し、大変うれしい気持ちになると同時に、楽しいひと時を過ごすことができました。6年生の皆さん、本当にありがとう。そして、6年生全員が胸を張って立派に卒業できるようにしっかりと準備をしていきたいと思います。また、在校生も今年度の残りの日々を悔いなく、充実したものにするために、教職員一同力を合わせ、子供たちのために全力で頑張っていきたいと思います。

さて、今年度を振り返り、保護者・地域の皆様には、言葉では言い表せないほど、たくさんのご支援とご協力をいただいたことに、感謝申し上げます。2月には、日ごろ大変お世話になっている地域の皆様をお招きして、感謝の気持ちを伝える「ありがとうの会」や安心・安全について話し合った「民生委員・児童委員の皆様との懇談会」、技を教えていただいた「昔遊びの集会」、保護者の皆様に成長した姿を披露した「授業参観・懇談会」、3月には、在校生が卒業生に感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」、そして、6年生の卒業をみんなで祝う「卒業式」。これらの学校行事を通して、「自分たちは決して一人ではない。助けてくれる、応援してくれる人がたくさんいる。」ということを実感するとともに、周りの人に「感謝できる心」を育ませたいと考えています。

4月からは、進学、進級となります。感染症予防に気を配りながらも、概ね教育活動が行えたのは、保護者・地域の皆様の応援、ご支援、そして、ご協力があったからこそと感謝申し上げます。子供たちに対するあたたかい言葉一つ一つに、学校、そして、子供たちは支えられてきました。この生活が当たり前と思わず、多くの方々の応援、支えがあったからこそ「今」があるという「感謝」の気持ちを子供たちや教職員と、改めて感じながら、一年を締めくくり、来年につなげたいと思います。

保護者・地域の皆様、この一年間、学校そして、子供たちを温かく見守り、応援し、支えてくださったことに心から感謝申し上げます。また、3月24日の卒業証書授与式、26日の修了式が滞りなく迎えられるよう、教職員一同、子供たちと精いっぱい頑張りたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

絵本作家 かさいまりさんが彦郷小に来てくださいました！

2月6日（木）に「読書のつどい」が行われ、絵本作家のかさいまりさんにご来校いただきました。かさいさんは、北海道生まれで、子供の心のゆれを題材としたお話作りを続け、全国で講演を行っています。小学校の国語や道徳の教科書に、数点の絵本が掲載されています。作品に「ムカツ やきもちやいた」「くれよんがのおれたとき」「ばあちゃんのおなか」「とくべつないちにち」など、多数です。日本児童文芸家協会会員で、日本児童出版美術家連盟の理事長でもあります。この日は、「ぴっけやまのおならくらべ」の読み聞かせをしてくださいましたが、わたしもおなら役で登場させていただき、子供たちと共に楽しい時間を過ごすことができました。また、「かしたつもり×もらったつもり」の作品で、こころについて考える貴重な時間にもなりました。

先日、お礼の手紙のお礼にお手紙と絵本「ちょっと おさんぽ」を3冊も送っていただきました。とてもうれしかったので、私もお礼の電話をした次第です。今現在も、校長室前のかさいまりさんコーナーの本は全て貸し出し中です。サインも飾ってありますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。



第45回卒業証書授与式について

- 日時 令和7年3月24日（月）
受付 8：40～8：55（体育館入口）
開式 9：05（卒業生入場開始）
- 式場 彦郷小学校 体育館
- その他
 - ・1家庭2名までの参列となります。
 - ・開式10分前（8：55）までにご着席ください。
 - ・1～5年生の児童は、臨時休業日です。学校に遊びに来ることはできません。特に午前中は卒業式が行われているので、家庭で学習等ができるとういことと思います。

ご家庭でもご指導をお願いします

年度末は放課後の時間が増え、子供たちのトラブルが起きやすい時期です。特にお金にまつわるトラブル（おごる・おごられる、課金、万引き等）は、彦郷小も例外ではありません。お金の貸し借りはもちろんのこと、子供だけで遊ぶときにお金を持って行かないよう、ご家庭でも指導をお願いします。また、スマートフォンの使い方にも課題が見られ、友達を傷つけてしまう事例が年々増加しています。ご家庭でもぜひ話題に出していただき、注意して見届けながら指導をお願いします。子供たちの健やかな成長のためにご協力をお願いいたします。

1 令和7年度の時間割について

令和6年度と同様の日課となります。

月曜日……特別日課5時間

火曜日……通常日課（1～2年：5時間、3～6年：6時間）

水曜日……通常日課（1年：4時間、2～6年：5時間）

※委員会やクラブ活動がある日があります。

木曜日……通常日課（1～3年：5時間、4～6年：6時間）

金曜日……通常日課（1～2年：4時間、3～6年：5時間）

・学期始めや学期末は、特別日課で早帰りとなります。

・来年度も、学校だよりや学級だよりでの下校時刻のご確認をお願いします。

2 令和7年度行事予定について

【1学期】4月 8日（火）始業式 入学式

14日（月）給食開始

17日（木）6年全国学力・学習状況調査

1,2,4年にじあお授業参観・懇談会

18日（金）3,5,6年授業参観・懇談会

30日（水）4年埼玉県学力・学習状況調査

5月 1日（木）5年埼玉県学力・学習状況調査

2日（金）6年埼玉県学力・学習状況調査

24日（土）春季大運動会（26日（月）振替休業日）

6月20日（金）～27日（金）個人面談予定

7月15日（火）給食終了

18日（金）終業式

28日（月）～30日（水）6年林間修学旅行

※2月末時点での予定です。行事予定は変更になる場合があります。

※懇談会でお渡しした年間行事予定表もあわせてご確認ください。

3/1	土	
3/2	日	
3/3	月	特日 卒業式練習開始
3/4	火	通常日課 6年生を送る会
3/5	水	特日 委員会活動（最終）
3/6	木	特日
3/7	金	特日
3/8	土	
3/9	日	
3/10	月	特日
3/11	火	特日5 1年わくわくデリハリ教室
3/12	水	特日
3/13	木	特日5
3/14	金	特日 中学校卒業証書授与式
3/15	土	
3/16	日	
3/17	月	特日 卒業式予行
3/18	火	特日5
3/19	水	特日 給食終了
3/20	木	春分の日
3/21	金	特日4 5年卒業式準備 通学班会議・一斉下校
3/22	土	
3/23	日	
3/24	月	卒業証書授与式
3/25	火	特日3
3/26	水	特日3 修了式
3/27	木	学年末休業日（～3/31） 春季休業日（4/1～4/7）
3/28	金	
3/29	土	
3/30	日	
3/31	月	



評価項目	評価項目	No.	質 問 項 目	学校自己 評価結果	学校関係者 評価 結果	学校自己評価についての 評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.47	3.90	職員に対して年度当初に校長より学校経営方針が示され職員各自、それに資する目標設定をした。また保護者、地域に対しては学校だよりやホームページを通じて具体的な取り組みや教育活動を繰り返し発信している。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.29		各教科主任を中心に行事等の計画、運営を行った。行事後の反省を全教職員で共通理解し、次年度につなげていけるようになった。教科・領域によって主任の負担に差があり、組織で計画、運営を行うことが課題である。
		3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.29		学力向上(算数)の研修、読書活動、運動会や陸上記録会、体育の実技研修などは、教員が自らすすんで取り組んでいる。また、ICTの活用が学力向上につながっている。
	特色ある学校づくり	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.24	3.80	校長の示す経営方針を、皆で共有しながら、教員それぞれが経営方針に沿った目標を立て、それぞれが主体的に教育活動を進めた。
		5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.82		打ち合わせや、職員会議において、校長、教頭から繰り返し指導があった。不祥事防止に向けて職員全員が当事者意識をもっており取り組んでいる。また、教員同士の意見交換では共通のよい職場について活発な意見交換ができた。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.76		計画的、継続的に課題研修に取り組む、授業力の向上につながった。指導案検討や模擬授業など全員が主体的に取り組めた。今後はより重点化して取り組む視点も必要である。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.12		様々な授業で活発な話し合い活動が各クラスで行われた。タブレットを活用した授業を毎日実施することができ、個別最適な学びを実現している。また、ICTの活用が学力向上につながっている現状があり、より効果的な活用を図る必要がある。
		8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.29		三郷の授業チェック10をもとに日々の授業について振り返りをおこない、今後は特に学力を向上させた教員から学ぶ取り組みを充実させ、良い指導を共有している。学級閉鎖の際はタブレットを使ったオンライン授業も実施し、学力保障を図っている。
		9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.53		全クラスが教室に掲示し、意識しながら日々授業に取り組んでいる。教師と児童の評価の基準について、今後もより確認し、目指す姿を共有する必要がある。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.24	3.60	根柢を築き、学習に取り組むことができていて、学年間での差がある。今後は全職員がより連携・協力して課題の解決に取り組む。
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.47	3.90	図書館図書、図書環境ボランティア、読み聞かせボランティアと連携し、読書活動を推進している。各クラスで行っていただいている読み聞かせが児童の読書活動に良い影響を与えている。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.35	3.80	児童は好きであるが、読書量増加になっていない。教員が積極的に声をかけて行う活動で読書量が増加したクラスもあるが、様々な教科・領域の調べ学習で図書館を活用するなど、児童の主体性を活かした活動を発展させ、読書量の増加を目指す。
	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.18		全学年で学業教育に関する食に関する授業を実施し、食育に力を入れている。保健指導より朝食早起朝ごはんを継続的に指導していき、朝食を食べることができない児童がおり、今後も家庭と連携した取り組みが必要である。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.71	3.80	運動好きな児童が多く、休み時間には走運動や、縄とびに自主的に取り組んで体力を高めている。新体力テストではほとんどの児童の体力の伸びが著しい結果であった。運動会や陸上記録会では、全力で選手と児童の意気込みを見られた。
	読書の推進	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.41		課題研修ではなかったものの、各クラスにおいて道徳の授業を大切にやってきた。年度当初には道徳主任よりオリエンテーションの授業を公開して、修習型の道徳授業を継承している。「道徳ノート」を作成し、授業のたびに児童が自分の考えを書く活動を継続している。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.35		道徳的な情を養い、人権意識を高めるためにこころタイムでは、教員の説話を聞く機会を設けている。各教室に道徳コーナーを設置し、授業の振り返りや日常での意識化を図っている。「こころの木」により児童の道徳性の高揚を図っている。
17		学校は、教職員の自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.41		教員は児童の手本となる言葉遣いを心がけている。教師は児童の最大の環境であるということに合言葉に努力している。	
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.18	3.60	教員が児童の手本となるよう、さわやかな挨拶を心がけているが、進んで自分から挨拶のできる児童が少ない。今後は、学校全体があいさつ運動に取り組むため、年間の生活目標にあいさつを位置づけるなど、きちんと挨拶ができる児童の育成を目指す。
		19	学校は、児童生徒が「です。ます。」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.00		粗雑な言葉遣いの児童がいる。時々感情が激化して争うこともある。そのような際は教員が単独で対応するのではなく複数の教員で冷静に対応している。授業の心得を活用し正しい言葉遣いへと根強く指導して来た。
		20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.35		管理職、スクールカウンセラー、生徒指導主任等、多くのスタッフが関わり、組織的に対応している。毎月生徒指導・教育相談部会の会議で、課題を共有し、一貫した対応ができるようになっている。
	生徒指導	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.53		一つの問題に対して、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー、生徒指導主任等、多くのスタッフが関わり、組織的に、適切に対応している。保護者等との面談も活用している。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.71	3.70	いじめを見逃さないよう、担任だけで対応せず、生徒指導主任を中心に一つ一つの事案に対して丁寧に対応している。
		安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.29	
24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★		3.59	3.90	安全教育主任を中心に、全教職員がそれぞれの分担を定期的、継続的に点検している。また危険な箇所はすべて修繕している。特に校舎の老朽化によるラフに対応した。	
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れている等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.24	3.80	熟練で清掃する「もくもく清掃」の取組がよい。今後は意義を子供たちにより伝えることで、主体的な態度を育成したい。	
	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.24		休暇の取得しやすい職場環境である。心身を休め、職務に集中して取り組むことができる。コロナ禍を経験して学校行事の精選などを行ってきたが、一部の職員に負担がかかっている現状がまたあり、改善が必要である。	
	家庭・地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.76	4.00	ホームページの更新がほぼ毎日おこなわれている。複数体制で更新業務にあたることで、掲載に更新ができた。保護者・地域の閲覧率も確実に上がっている。今後は学校だよりの完全電子化など検討事項である。
28		学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.29	4.00	親の学習は就学時健康診断で来年度入学予定児童の保護者に向けて実施した。また、毎日の登校の送り手り活動、環境整備活動、図書の読み聞かせ活動等を行っていた。定期的に、団地安楽会による年生の普遊びも実施でき、地域の方々とつながり、児童の豊かな育成、安心安全の確保がなされた。	
29		学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.29	3.90	PTA活動に関しては会費を申し送りし取り組めることになった。今年度も彦磨フェスが開催され、多くの児童が参加した。運動会や学校公開の際には本部役員の方々を中心に協力して行事運営ができた。	

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。